



ボランティアセンターだより

昭和62年9月20日

第2号

発行人

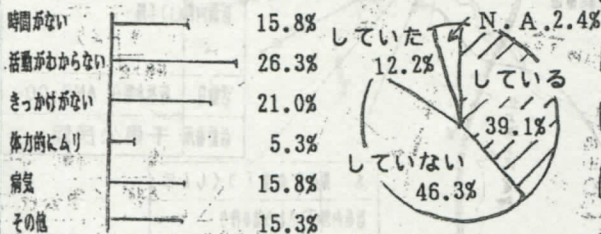
豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンター運営委員会

〒560 豊中市中桜塚2丁目28-7

☎06(841)9393 (市立福祉会館内)

アンケート ボランティア情報不足



「これであつてますか・・・」

(点字ボランティアに指導を受ける16中学生)



「坂道を上るのはむずかしいなあ・・・」

発表の内容はボランティア活動「をテーマに大きく分けて次の三つの取組みをした。①紙を透いてハガキを作り、地域のお年寄りに便りを出すクラス②豊中市心身障害(児)者ボランティ

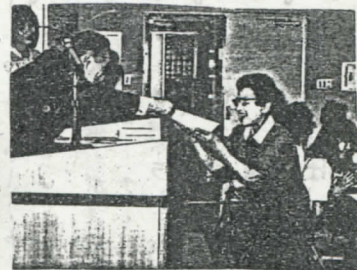
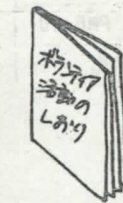
豊中市立第十六中学校(市社協ボランティア協力校指定校)は、今年度の福祉教育の一環として二年生八クラスが夏休み中に体験したボランティア活動の成果を九月十八日の文化発表会で発表した。

ボランティア活動体験中

ア協会の協力で「車いすで外出することの難しさ」について実際に車いすのつて市内を回り、ビデオ作成したクラス③点字のボランティアグループ「つくしんぼ」の協力で「さわる絵

市社協ボランティアセンターは、六月二十日から七月十日の期間、過去のボランティアスクール修了生を対象に、ボランティア活動の実態調査を行いました。その結果スクール修了後、「ボランティア活動をしていない人」は、全体の約三十九パーセントとかなり高い数字ではあるものの、「していない」その理由は「活動がわからない」が全体の二十六・三パーセント「きっかけがなかった」が全体の二十一パーセントで両方で約四十八パーセントを占め、今後ボランティアに

本「(視覚障害者のための絵本)づくりに挑戦したクラス。同校の生徒たちは「点字は、難しいと思っていたけれどわりと簡単に覚えられてよかった。」「自動販売機の点字も読めるよ。」「平らに見える道もデコボコで車いすの介助がいてもなかなかまっすぐ進まないからひとりですぐ進めるのは非常に難しいのでは・・・」「ハガキを直接、地域のお年寄りに届けていろいろ話したい。」「等々さまざまな取組みを通して、感想を語る笑顔は、一回り人間的に大きくなったように感じさせた。ボランティアグループ「つくしんぼ」の会長の高橋さん「子供たちの点字の上達ぶりはスゴイ。」「子供供のころからこのようにボランティアに関心を持って



ご苦労様でした。(修了証書の交付)

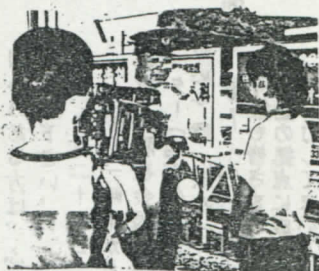
今回は、「くらしの中の福祉」をテーマに「高齢化社会と市民生活」・「体のしくみ心身のしくみ」・「くらしと経済」・「まとも」の五回の講座で、スライドも交えて豊中の福祉の現状、福祉と経済との関係、市民の役割としてのボランティア活動等について勉強しました。

去る七月十五日から市立福祉会館で開催していただきました昭和六十二年度市社協ボランティアスクール入門講座は、定員を大幅に上回る四十八名が熱心に受講し、大盛況で九月十六日に幕を閉じました。

ボランティア スクール大盛況!

7/15 ~ 9/16

「車いすの方との接し方はどうされていますか・・・」



「車いすの方との接し方はどうされていますか・・・」 (阪急電報局)



TEL(841)9393 FAX(841)2388

々に増え、少くとも一ヶ月は準備しつつあります。

ご希望 惜幸等をいしと
可せください。